

雨の強さと降り方

- ◇広域豪雨・・・5、6時間以上にわたって千平方キロ以上の地域に、時間雨量40ミリから100ミリ前後の大雨が降る。台風の進行速度が遅いともっと降る。
- ◇集中豪雨・・・30分から数時間以内で数十から数百平方キロにわたって、時間雨量50ミリから100ミリ前後の大雨が降る。
- ◇ゲリラ豪雨・・・数平方キロから数十平方キロの狭い範囲で10分間雨量15ミリ以上の局地的大雨が降り、河川の急激な増水、市街地のスポット的浸水が起こる。

◆ 1時間あたりの雨量

10～
20^{ミリ}

やや強い雨



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

20～
30^{ミリ}

強い雨



土砂降りの雨。傘をさしてもぬれてしまうほどの雨です。小河川なら、はん濫、がけ崩れの心配もあります。

30～
50^{ミリ}

激しい雨



激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなり危険地帯では避難の準備が必要です。道路規制も行われます。

50～
80^{ミリ}

非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。傘は、まったく役に立たなくなります。

80^{ミリ}
～

猛烈な雨



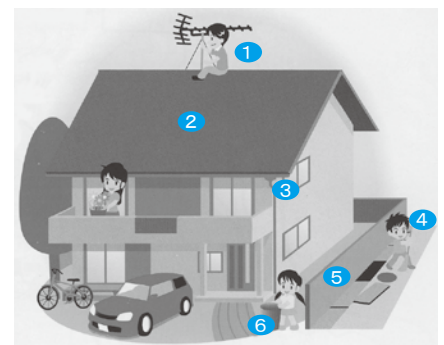
息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

風の強さと被害の程度	風力 7	13.9～17.2m/s未満 傘がさせず、取り付けの悪い看板などは飛ばされる。
	風力 8	17.2～20.8m/s未満 小枝などは折れる。大人はかろうじて歩けるが、子どもは飛ばされそうになる。
	風力 9	20.8～24.5m/s未満 テレビアンテナは倒れ、屋根瓦は飛ばされる。
	風力 10	24.5～28.5m/s未満 樹木は根こそぎ倒され、建て付けの悪い家などは壊れる。

風水害に備えて

家の周りの点検

- ①テレビのアンテナは針金で固定しましょう。
- ②屋根瓦の点検をしましょう。
- ③といの掃除をして、水の流れをよくしましょう。
- ④溝の土や木の葉を掃除して、水の流れをよくしましょう。
- ⑤塀は補強して風に倒されないようにしましょう。
- ⑥風で飛ばされやすいものは家の中へ入れましょう。



安全点検	風水害のあとの	<ul style="list-style-type: none"> ■電線が建物や樹木、塀などに触れていないかチェックし、断線があれば関西電力に連絡する。 ■燃料などの危険物が漏れていないか、プロパンガスに異常がないか確認する。 ■浸水にあった場合は、伝染病を防ぐために必ず消毒を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・庭、家の周辺、床下に石灰をまき、家具などはクレゾール石けん液でよく拭き消毒する。 ・量は日光に十分当て、よく乾燥させたあとに、石けん水で拭く。
------	---------	--

◆問い合わせ 防災課（☎内線404・409）へ